



内閣府
国際平和協力本部事務局主催
第4回国際平和協力
シンポジウム

多機能型国連PKO活動の深化と拡張
～我が国の国際平和協力活動のさらなる地平に向けて～

2013年1月24日
国連大学ビル エリザベス・ローズホール

内閣府国際平和協力本部事務局

内閣府国際平和協力本部事務局主催
第4回国際平和協力シンポジウム

『多機能型国連PKO活動の深化と拡張～我が国の国際平和協力活動のさらなる地平に向けて～』

国連大学ビル
エリザベス・ローズ・ホール

プログラム

総合司会： 福島安紀子 青山学院大学国際交流共同研究センター研究員

13:30-13:35 開会挨拶：高橋礼一郎 内閣府国際平和協力本部事務局長

13:35-14:00 基調講演：星野俊也 大阪大学大学院国際公共政策研究科教授
“複合化する国連PKO任務にどう取り組むか？”

14:00-15:30 セッション1

「武装解除・動員解除・社会復帰(DDR)と治安部門改革(SSR)に見る国連PKOの役割と課題」
報告：志茂雅子研究員 “DDR(武装解除・動員解除・社会復帰)～南スーダン「子どものDDR」
の事例より～”

湧川いづみ研究員 “多機能型国連PKO活動による治安部門改革(SSR)と日本の貢献”
コメント：安富 淳 認定NPO法人日本紛争予防センター・シニアプログラムオフィサー
 央戸恒信 東京女子大学現代教養学部教授、元国際通貨基金及び世界銀行職員
質疑応答

15:30-15:45 休憩

15:45-17:15 セッション2

「多機能型国連PKOの活動領域のさらなる拡張(保健、教育分野)」
報告：田中極子研究員 “平和構築における公衆衛生の視点”
 外山聖子研究員 “国連PKOと紛争後の教育支援—統合ミッションにおける可能性—”
コメント：松木泰憲 1等陸佐 陸上幕僚監部衛生部企画室長兼自衛隊中央病院第1内科
 長谷川祐弘 法政大学法学部教授、国連大学客員教授、元東ティモール担当国連事
 務総長特別代表
質疑応答

17:15 閉会

内閣府国際平和協力本部事務局 第4 民間平和協力シンポジウム
多難紛争国連 PPO 活動の進捗と展望
～我が国の国際平和協力活動のさらなる進捗に向けて～

出講者プロフィール

司会者

福島安純子（ふくしま あきこ）

青山学院大学国際交流共同研究センター研究員

1994 年米国ジョージア・ホプキンス大学国際関係学専攻修士号。
1997 年大阪大学より修士号。総合研究開発機構(IRRI) 主任研究員、国際文化基金特別研
究員を経て現職。その後、在ブラッセル EU アジアセンター国際関係委員を兼任。英国
国際戦略研究協会(IISD)、International Studies Association(ISA) 委員。主な著作に
Japanese Foreign Policy: A Logic of Multilateralism、『セッション：アジア太平洋安全保障
対話』、『人間の安全保障』、『紛争と文化対立』等。

司会者

高橋礼一郎（たかはし れいいちろう）

内閣府国際平和協力本部事務局長

東京大学法学部卒業。1990 年在外務省入省。アジア局南東アジア第一課、経済局長補佐
長、在フィリピン日本大使館一等書記官、在アメリカ合衆国日本大使館参事官、アジ
ア大洋州局南東アジア第一課長、大蔵省理財局長。在インド日本大使館公使、国際協
力局長参事官、在外務省日本大使館総務公使参事官兼任。2011 年 1 月から在アフガニス
タン日本大使館公使。2012 年 9 月より現職。

基調講演

星野雅也（ほしの としや）

大阪大学大学院国際公共政策研究科教授

上智大学社会学部卒業。学術修士（東京大学）、国際公共政策博士（大阪大学）。外務省在
米日本大使館専門級参事官、米フリストン大学客員研究員、日本国際問題研究理事主任研
究員などを歴任。2003 年より大阪大学大学院国際公共政策研究科教授。2011 年 4 月、
同大学院研究科長。同年 6 月より大阪大学校長補佐を務め、2006 年から 09 年には外務
省に出向し、国際聯合日本委員会委員参事官。在学中、米コロンビア大学客員研究
員も兼任した。

セッション1 民間組織・市民組織・社会復興(DDR)と治安部門改革(SSR)による
国連PKOの役割

志賀淳子（しほ まさこ）

内閣府国際平和協力本部事務局 国際平和協力研究員 第10 期生

東京大学文学部国際関係学専攻卒業後、都市銀行勤務を経てイェール大学にて国際関係
論の修士号を取得。IMRC のインターンを経験し、2001 年より日本政府海外文化推進経
済にて専門研究員をつとめ、経済・産業関係の交渉の策定策交に携わる。その後ユニ
セフ（中国）、セーブ・ザ・チルドレン（日本及び中国）で、子ども保護、人道援助に携
わる。2011 年 9 月より国際平和協力研究員として現職。

実高 暉（ゆずとみ あつし）

経済 NPO 法人日本紛争予防センター、シニア・プログラムオフィサー

上智大学社会学部卒業。英国ブラッドフォード大学国際安全保障学修士、ベルギ
ー・ルーヴェン大学博士（Ph.D.）。外務省専門級参事官として在ブルガリア共和国日本大
使館に勤務後、ベルギー・ルーヴェン大学国際平和研究・連絡研究所、ノルウェー・オ
スロ平和研究所（PRIO）、日本国際民間協力会（JICA）を経て、2010 年 5 月より現職。

清川いづみ（わがわ いづみ）

内閣府国際平和協力本部事務局 国際平和協力研究員 第11 期生

カリフォルニア州立大学サンタ・クルーズ校で政治学専攻。セントレー国際大学院大
学国際公法修士課程において、紛争解決や平和構築を専門とする。米国防務省海軍大
学院大学国際安全保障局にて研究員として勤務。2007 年～2012 年ネパールの政策
研究等の立ち上げに、技術アドバイザーとして従事。研究所のプロジェクトとして DDR
や DRP に参加し経験を積む。2012 年 5 月より国際平和協力研究員として現職。

実戸桐優（しんどう のぶ）

東京女子大学現代教養学部国際社会学科経済学専攻教授

一橋大学社会学部卒業。マサチューセッツ工科大学で経済学、都市学で Ph.D を取得。
2012 年現在 東京女子大学現代教養学部国際社会学科経済学専攻 教授
2005-12 年 世界銀行ネパール事務所にボリシークラスターリーダー
2005-07 年一橋大学経済学研究所アジア公共政策プログラム ディレクター 課 教授
2009-01 年一橋大学国際企業戦略研究科アジア公共政策プログラム 教授
1995-2007 年 国際通貨基金（ワシントン DC）にてラオス、ネパール、ミャンマー、モ
ルジブのミッションリーダー、ベトナムの副ミッションリーダーとして IMF、PRG 等の
IMF からの支援 および第 4 愛媛県を担当。
1989-95 年 世界銀行（ワシントン DC）にてネパール、スリランカ、フィリピン担当で

経済政策クレジットおよびカントリーエコノミックレポート担当。

セッション2 多難紛争国連 PPO の活動領域のさらなる拡張（保健、教育分野）

原中優子（はなか きよこ）

内閣府国際平和協力本部事務局 国際平和協力研究員 第10 期生

注国大学社会学部国際関係学専攻卒業。米国サセックス大学国際関係学修士。国際
保健学大学院研究科修士号取得後現職。オランダ大薬学化学科博士号取得後及び
保健学連日本校代表委員参事官を経て、2011 年 9 月より国際平和協力研究員として
現職。専門は、保健する責任や文民の被害等の規範概念に関わる問題のほか、保健分野
における日本の貢献について考えている。

1 号館提供 松本 孝憲（まつもと やすのり）

陸上自衛隊第 1 師団 企画参事 兼 自衛隊中央病院第 1 内科

1990 年 防衛医科大学校卒業後、内科・リウマチ膠原病専門医官、医学博士として防衛
医科大学校、自衛隊中央病院等で診療・研究に携わる一方、第 6 地方支援隊隊医（山
形）、第 1 師団司令部医官（東京）等の勤務を経験。2005 年 イラク復興支援支援隊
隊医として医療支援隊に参加。2008 年 防衛研究所に一般看護研究員として入所し、
医療分野における国際協力に関する研究に従事（論文は 2010 年 防衛研究 12 巻 2 号
発表に投稿）。2011 年 陸上自衛隊第 1 師団 企画参事兼第 1 師団 国際医療支援隊隊
医/国際平和構築活動における臨床支援隊隊長等を務め、自衛隊方面幹部医官（現
任）を経て 2012 年 7 月から現職。

外山 聖子（とやま せいこ）

内閣府国際平和協力本部事務局 国際平和協力研究員 第11 期生

専門分野：教育、平和構築、民間人道支援

コロンビア大学教育大学院 国際教育開発学、教育修士。国際連合教育科学文化機関
(UNESCO) パリ本部インターン後、コロンビア大学大学院にて平和教育教授、紛争解決
学、企業などで国際的交渉・調停などのセミナー講師を務める。2006 年 8 月からピース
ウィンスジャパン (PWI) 東京・ニューヨークオフィスに勤務し、緊急・人道支援、紛争後
教育支援フィールドコーディネーターを務め、2012 年 4 月から国際平和協力研究員として
勤務。本陣では PRD と関わり、人道支援、教育支援における長年連続の研究とともに、
PWI 派遣研修 (DPTR) の「国連カンパニーチーム：ミッションパートナーとの連携」
を担当。共著に「紛争を対象としたニュース向けの報道研究推進事業」及びニューヨーク
国際連合教育、文化科学会 (2008 年)、Dery A. Heurden and Alicia Calderon (2009)
*Learning to Abolish War: Teaching Toward Culture of Peace - Hague Appeal for
Peace* などがある。

長巻川祐弘（ながまき かつひろ）

成教大学社会学部国際政治学専攻教授、元東京ティモール国連選挙事務所長特別代表

国連大学卒業後、日本国際連合学会理事、東京ティモール民主共和国大統領特別顧問、
報道大使、地球連帯アジア太平洋委員会理事。2004 年 5 月より 2008 年 9 月まで国連選
挙事務所特別代表（東京・ティモール）、国連カンボジア平和維持任務、選挙監視団副団長、国
連ソマリア平和維持任務（政治・国連課）、ルワンダ・国連人道・開発委員会。専門は、
平和構築論、国際関係論。1974 年東京ワシントン大学で国際関係研究修士号を取得。

基調講演等



星野 俊也 氏



福島 安紀子 氏



高橋 礼一郎 当事務局長



明石 康 氏

セッション1

武装解除・動員解除・社会復帰(DDR)と治安部門改革(SSR)
に見る国連PKOの役割と課題



志茂 雅子 研究員



安富 淳 氏



湧川 いづみ 研究員



安富 淳 氏

セッション2

多機能型国連PKOの活動領域のさらなる拡張(保健、教育分野)



田中 極子 研究員



松本 泰憲 氏



外山 聖子 研究員



長谷川 祐弘 氏

会場の様子





内閣府
国際平和協力本部事務局主催
第4回国際平和協力シンポジウム

内閣府国際平和協力本部事務局
〒100-8970 東京都千代田区霞が関3-1-1 合同庁舎4号館
TEL : 03-3581-7343 HP : <http://www.pko.go.jp>